

NTT 西日本、京阪 HD、NTT、NTT データが大阪・京橋で『AI を活用したまちづくり』の検討を開始

西日本電信電話株式会社  
京阪ホールディングス株式会社  
日本電信電話株式会社  
株式会社NTTデータ

西日本電信電話株式会社（以下、NTT 西日本）、京阪ホールディングス株式会社（以下、京阪 HD）、日本電信電話株式会社（以下、NTT）、株式会社 NTT データ（以下、NTT データ）は、大阪・京橋駅周辺エリア（以下、京橋）で『AI を活用したまちづくり』の検討を開始します。

スマートシティの実現には、まちのデジタル化(可視化やシミュレーション)や市民参加の仕組みが重要です。しかし、デジタル化のために多数のセンサーを街中に設置し、そのデータを分析・活用するには、膨大なコストや時間を要することや、市民参加の仕組みも一部の参加にとどまり多くの人を巻き込めていない、といった課題がありました。本取り組みはこれらの課題解決をめざすものです。

## 1. 取り組みの背景

NTT 西日本は、2022 年京橋への本社ビル移転に合わせて開設したオープンイノベーション施設「QUINTBRIDGE (クイントブリッジ)」をベースに、さまざまな社外組織との共創で社会課題の解決、未来社会の創造に取り組んでいます。そうした中、「沿線再耕」を掲げ、「えきから始まるまちづくり」をキーワードとして幅広い事業を展開する京阪 HD と、両社の重要拠点である京橋の活性化やエリア価値の向上に対する想いが一致し、『AI を活用したまちづくり』について連携することとなりました。

本取り組みには、まちづくりにおける市民との接点の検証を進めている NTT と NTT データも参画します。

## 2. 検討内容

NTT 西日本は京橋をセンサーレスでデジタル上に再現し、まちの分析・可視化・未来予測を可能にするプラットフォームを検討します。NTT と NTT データはプラットフォームと「みんスマ<sup>※</sup>」アプリを連携させて、市民がまちづくりに参加しやすくなる仕組みを検討します。これらを京阪 HD の商業施設や沿線で活用し、京橋の賑わいの創出やエリア価値の向上をめざします。

※ みんなスマは、NTT と NTT データが開発中の”まちと人との接点となるまちづくりアプリ”。2021年11月から東京・自由が丘で実証実験を開始。

<https://minsma.com/>

<https://www.nttdata.com/jp/ja/news/release/2021/111100/>

### 3. 各社の役割

NTT 西日本 : まちの状態を可視化・シミュレートするプラットフォームの検討

京阪 HD : 商業施設などの実証フィールド提供や効果検証の検討

NTT : プラットフォームとまちづくりアプリとの連携による有効性の検証

NTT データ : まちづくりアプリの開発

なお、NTT 西日本は、『AI を活用したまちづくり』への関心や参画意向をお持ちいただける企業や団体との協議も広く行ってまいります。

### 4. 今後の展開について

京橋をフィールドとする実証実験の内容については、2023年初旬に公表予定です。

関西エリアではうめきた2期開発、大阪・関西万博、全国的にはデジタル田園都市構想を契機としたスマートシティ取り組み機会の拡大が期待されており、本取り組みで得られる知見や成果をそれらにも繋げていくことをめざします。



図 NTT 西日本の AI を活用したまちづくりの展開